

## 第九章 就職予定の企業の業界別の集計

# 第九章 就職予定の企業の業界別の集計

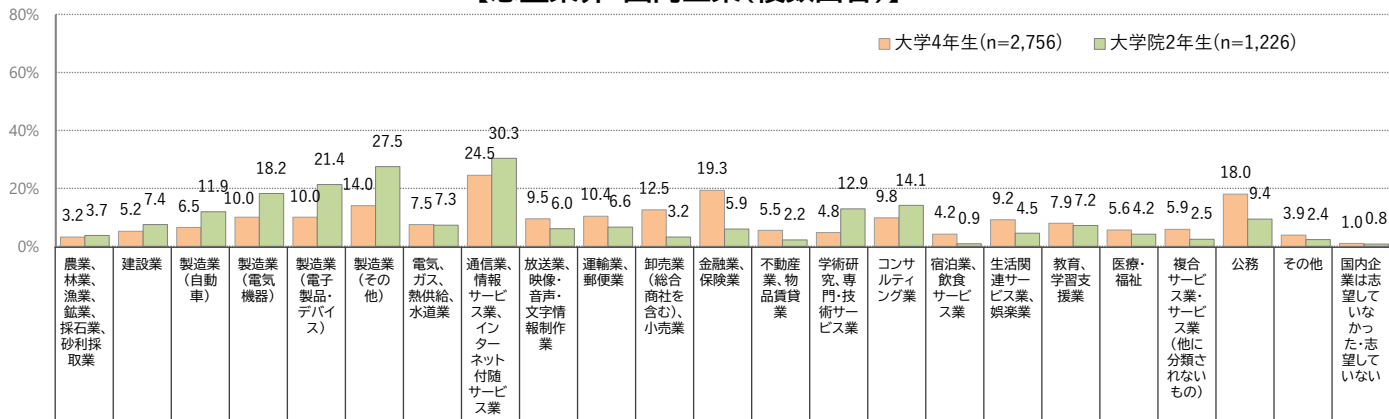
## (1) 就職予定の企業の業界別の就職活動内容

### ①志望業界・就職予定の企業の業界に関する回答状況

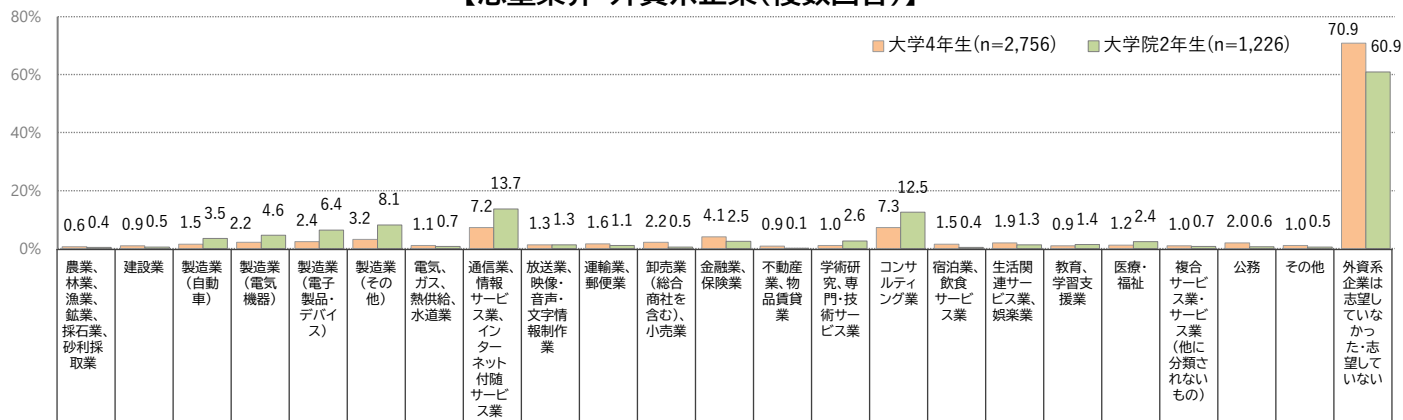
就職活動を行うにあたり、志望していた(志望している)国内企業の業界について集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の回答割合が最も高くなっている。外資系企業については、「外資系企業は志望していなかった・志望していない」を除いて、大学4年生では「コンサルティング業」、大学院2年生では「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の回答割合が最も高くなっている。

就職予定の企業の業界では※1、大学4年生では「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」、「金融業、保険業」、「製造業(その他)」の順、大学院2年生では「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」、「製造業(その他)」、「製造業(電子製品・デバイス)」の順で回答割合が高くなっている。

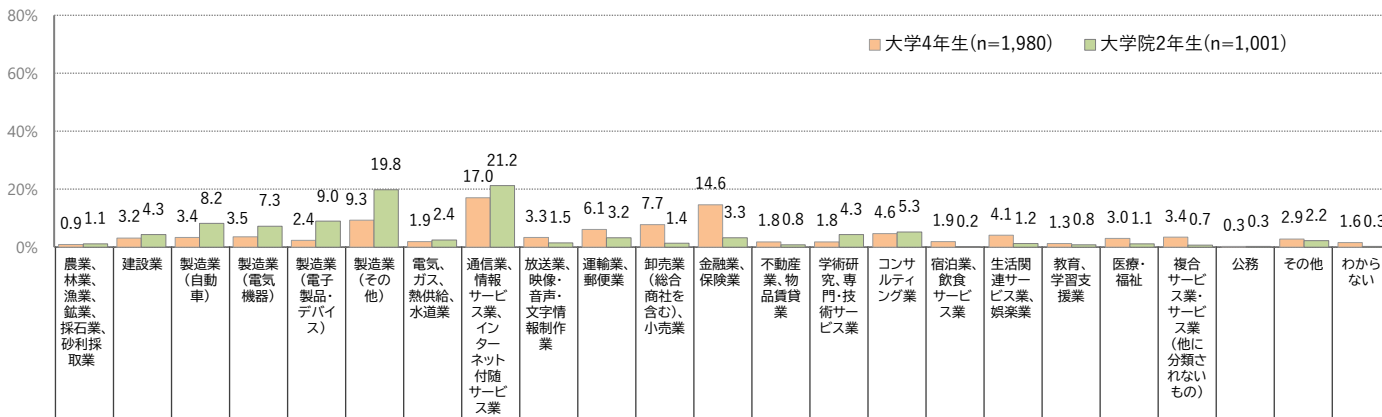
【志望業界・国内企業(複数回答)】



【志望業界・外資系企業(複数回答)】



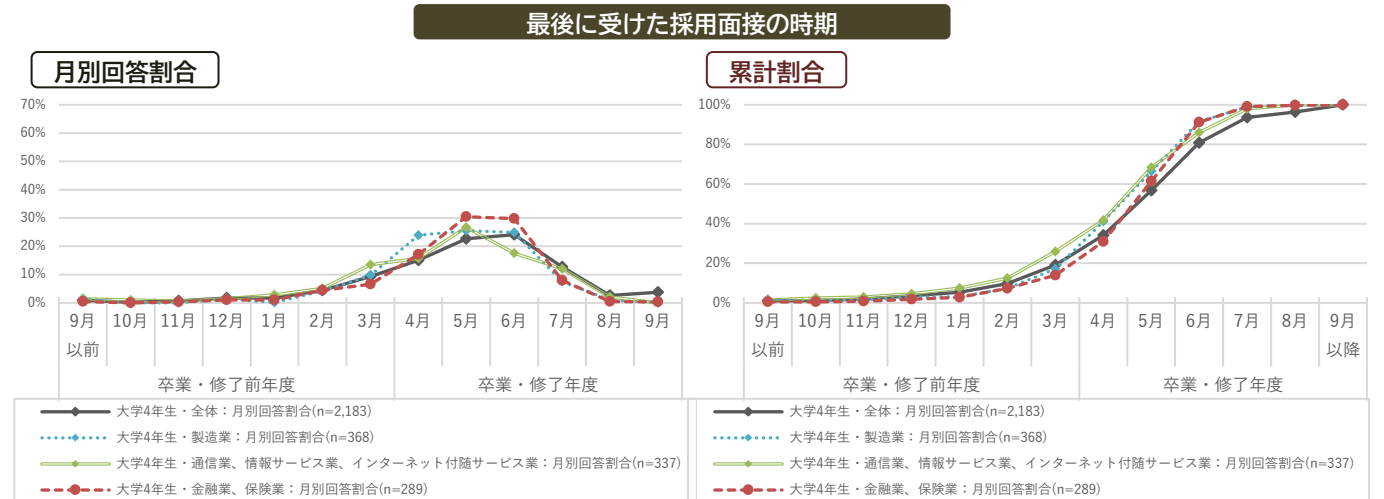
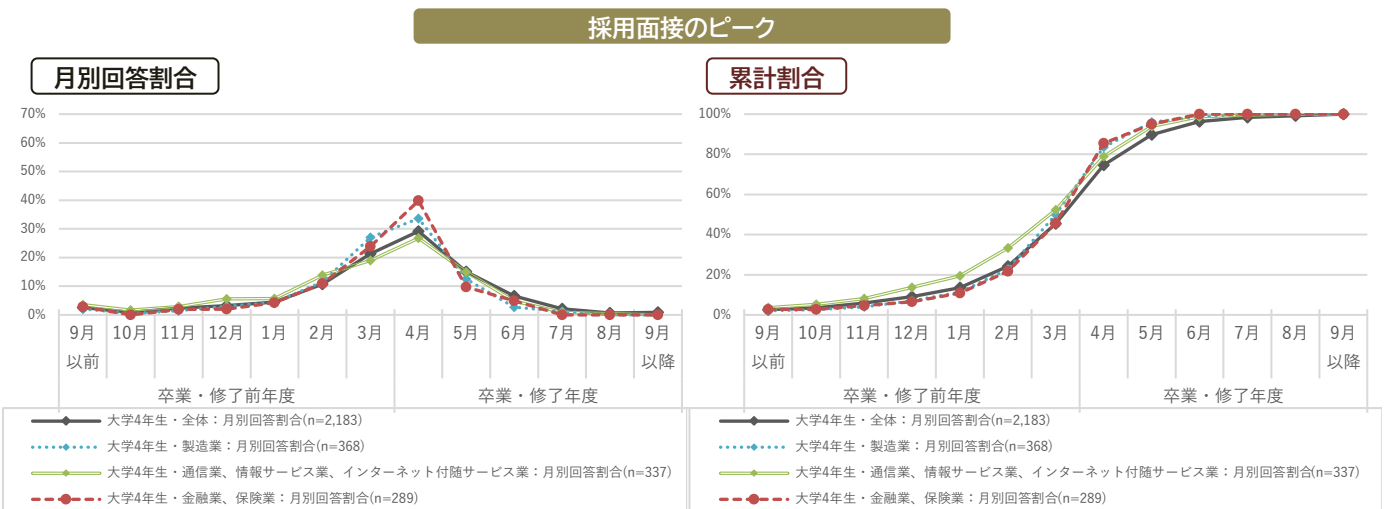
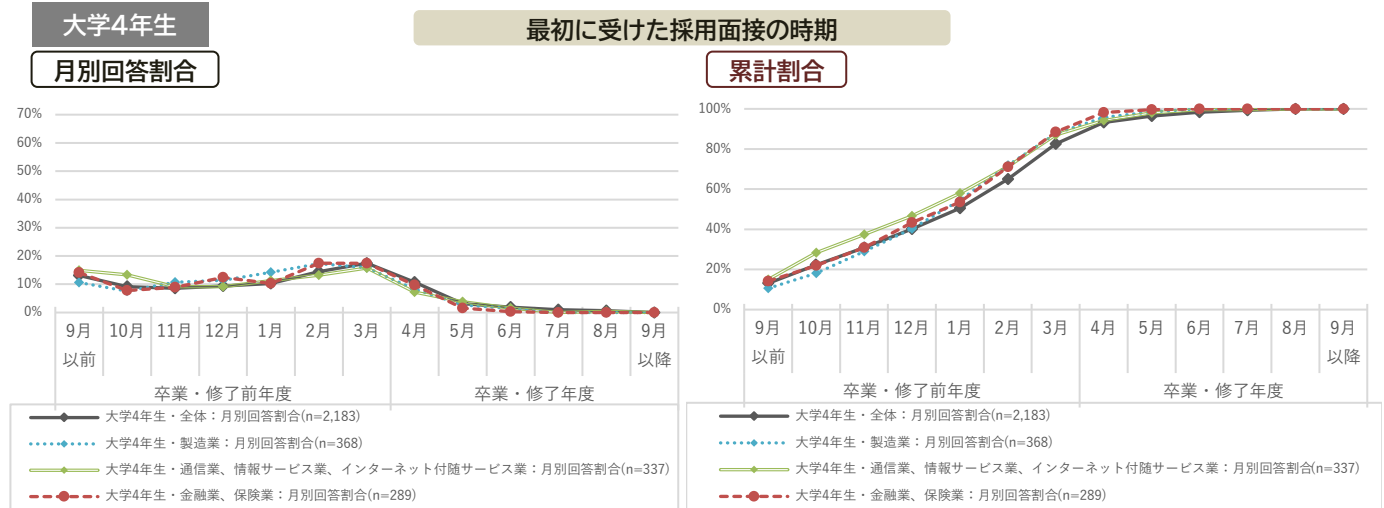
【内々定を受けた就職予定の企業の業界(単数回答)】 ※公務員・教職員志望者除く



※1：【志望業界(複数回答)】の図は志望していた就職先の業界について該当するものをすべて回答してもらったものであるのに対し、【内々定を受けた就職予定の企業の業界】は、就職予定の企業について選択肢よりひとつのみ回答する方式によるものである。

## ②就職予定の企業の業界別の採用面接の実施状況

就職予定の企業の業界について該当する割合が高い3業種(大学4年生は「製造業※1」・「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」「金融業、保険業」、大学院2年生は「製造業」「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」「コンサルティング業)」で、業界別の採用面接の実施状況を集計すると※2、大学4年生では、「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の者で、「最初」「ピーク」「最後」のいずれについても、早期で回答割合が高い時期が見られる。大学院2年生では、「コンサルティング業」「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の者について、「最初」「ピーク」「最後」のいずれについても、早期で回答割合が高い時期が見られる。特に「コンサルティング業」の者については、早期の回答割合が顕著に高い。



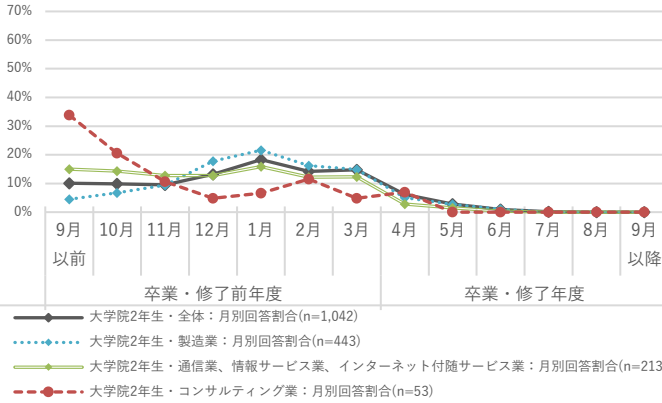
※1：製造業は「製造業（自動車）」「製造業（電気機器）」「製造業（電子製品・デバイス）」「製造業（その他）」を合算している。  
 ※2：採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。また各学年における全体値は、就職予定企業がある者を対象としているが、公務員や教職員志望者を除いて集計している。

## ②就職予定の企業の業界別の採用面接の実施状況

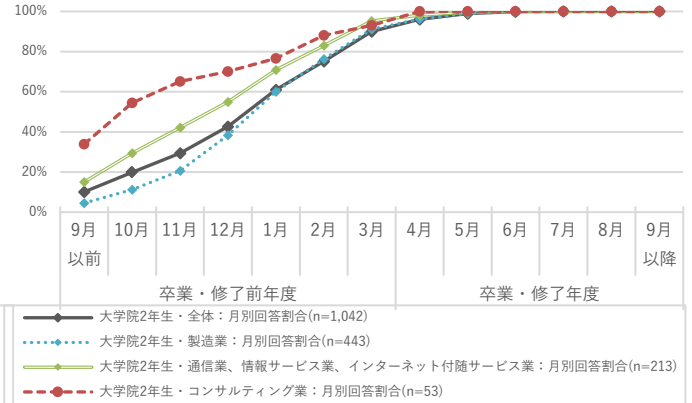
### 大学院2年生

#### 最初に受けた採用面接の時期

##### 月別回答割合

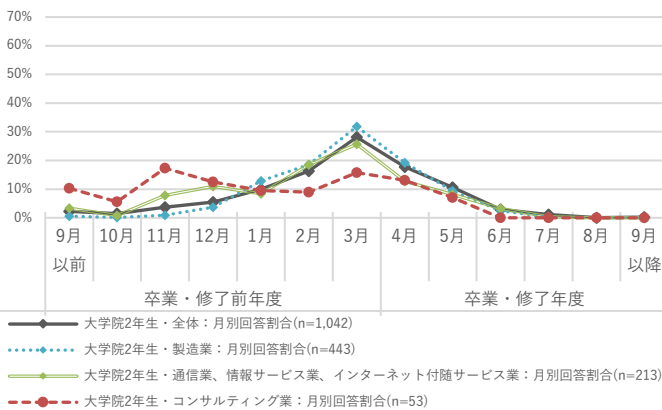


##### 累計割合

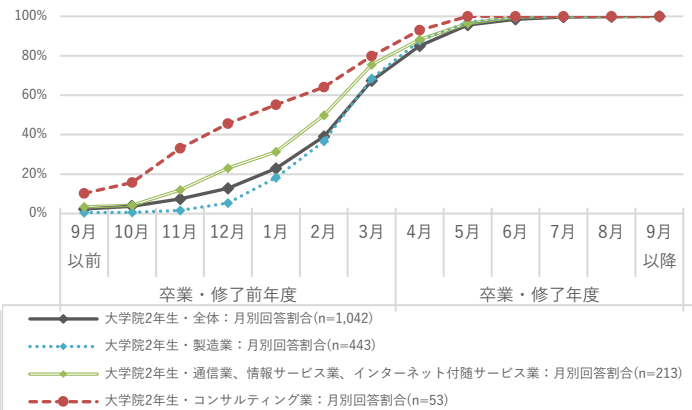


#### 採用面接のピーク

##### 月別回答割合

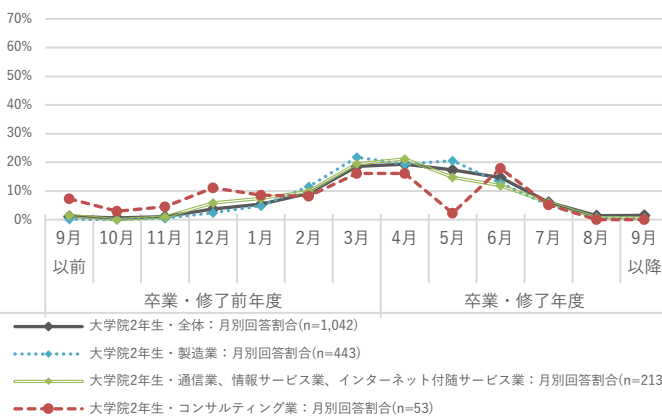


##### 累計割合

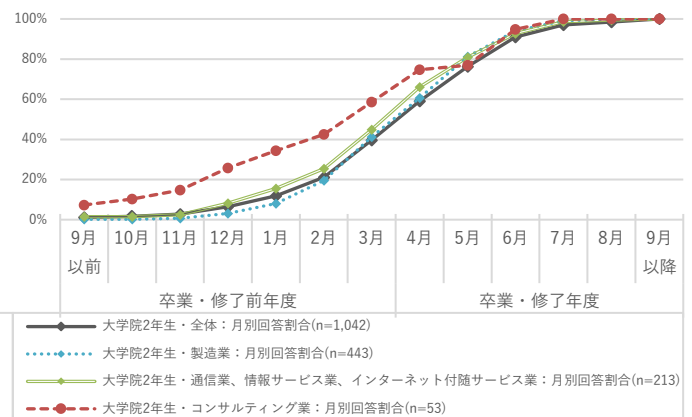


#### 最後に受けた採用面接の時期

##### 月別回答割合



##### 累計割合

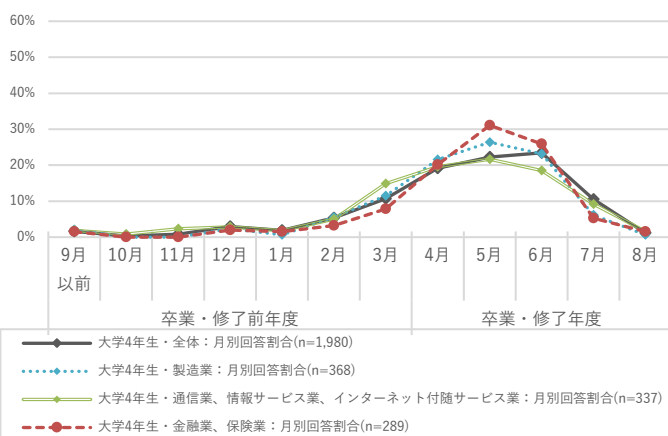


### ③就職予定の企業の業界別の内々定を受けた時期

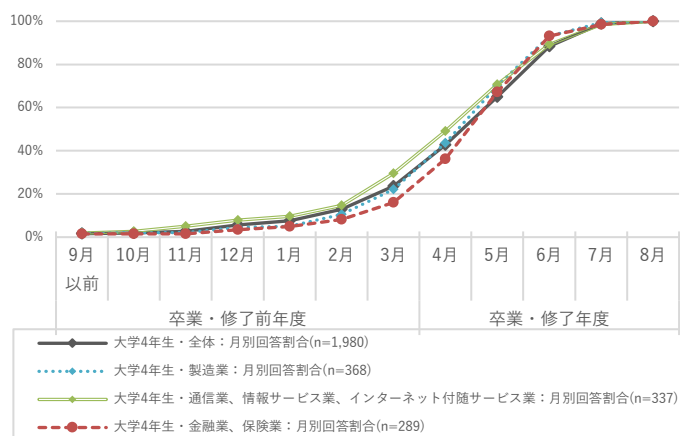
就職予定の企業の業界別に内々定を受けた時期について集計すると※1、大学4年生では、就職予定の企業の業界が「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の者は、早い時期に内々定を受けた割合が若干高くなっている。大学院2年生でも同様に、就職予定の企業の業界が「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の者は早い時期に内々定を受けた割合が若干高くなっている。また、就職予定の企業の業界が「コンサルティング業」の者で、修了前年度に内々定を受けた割合が、他業界と比較して大幅に高くなっている。

#### 大学4年生

##### 月別回答割合

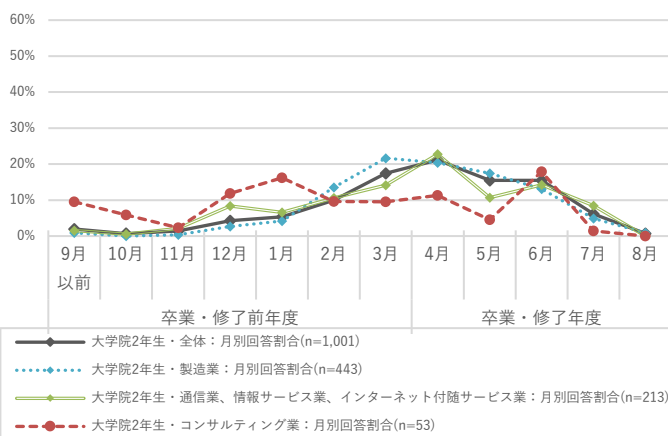


##### 累計割合

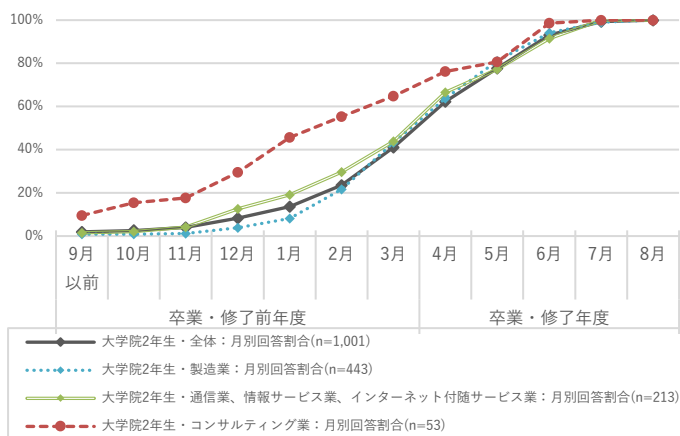


#### 大学院2年生

##### 月別回答割合



##### 累計割合



※1：1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、ここでの「内々定」は就職予定の企業のものに限らない。また各学年における全体値は、就職予定企業がある者を対象としているが、公務員や教職員志望者を除いて集計している。

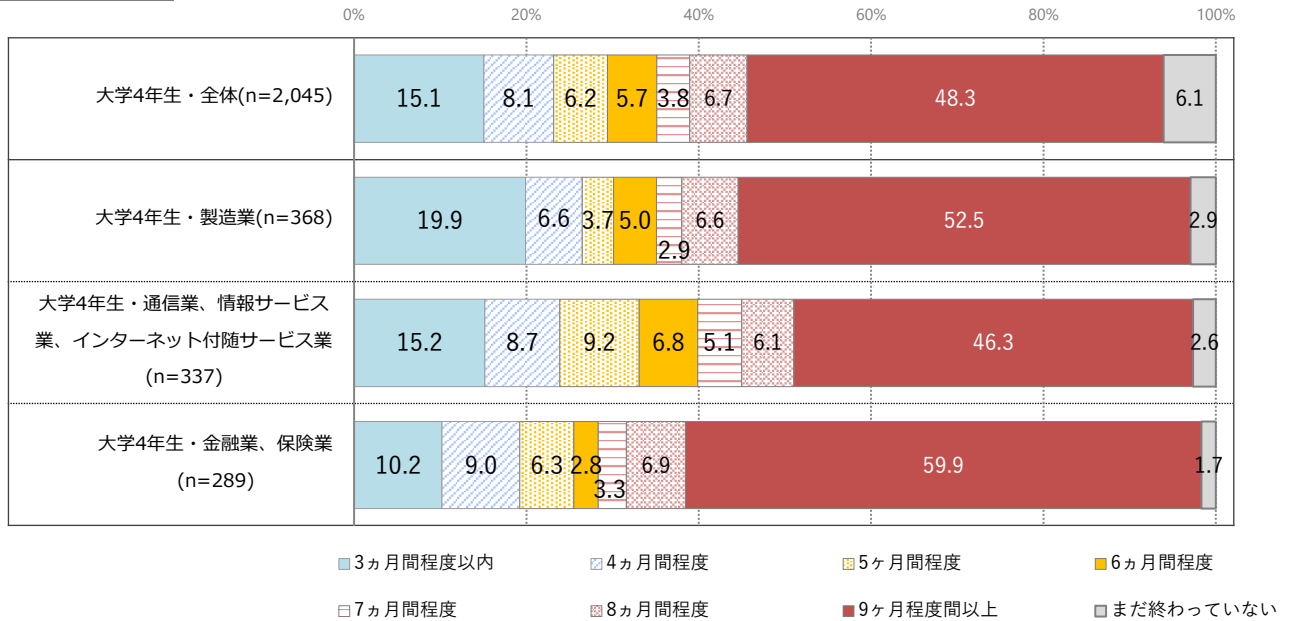
#### ④就職予定の企業の業界別の、就職活動の始まりから終わりまでの期間

就職予定の企業の業界別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間を集計すると※1※2※3、大学4年生では就職予定の企業の業界が「金融業、保険業」の者で「3ヶ月間程度以内」の回答割合が低く、「9ヶ月間程度以上」の割合が約6割と、他業界と比べ高くなっている。

大学院2年生では、「コンサルティング業」の者で、「9か月間程度以上」の割合が4割未満と、他業界と比べ低くなっている。

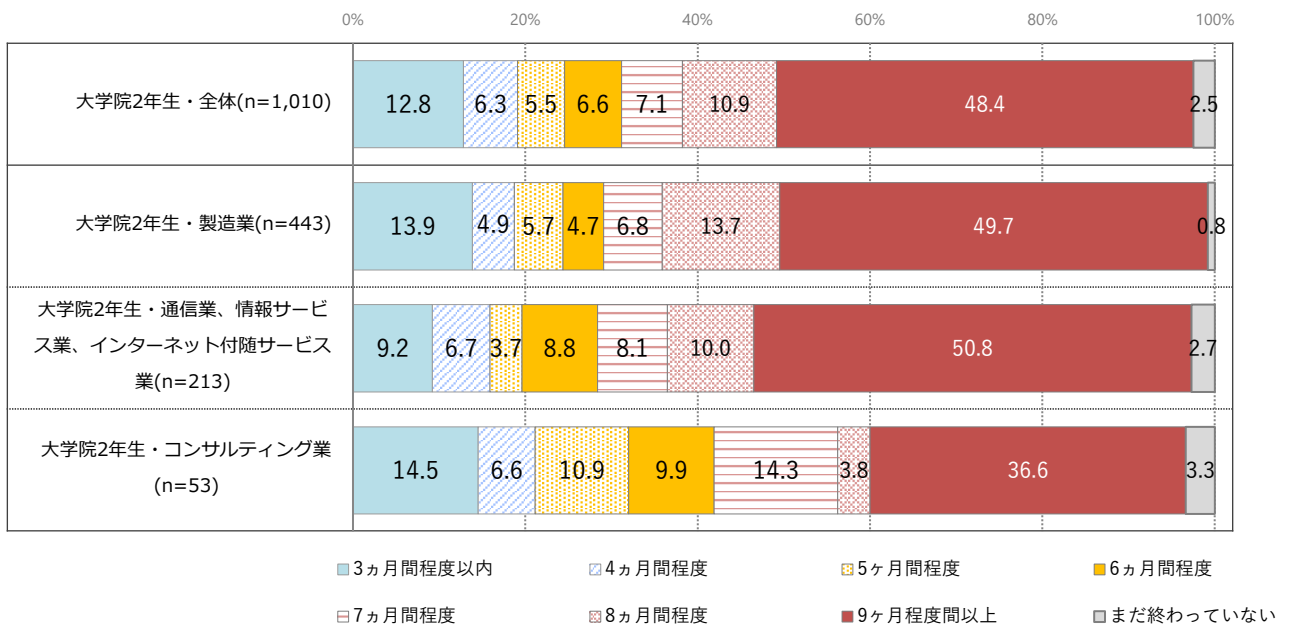
##### 大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



##### 大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



※1：「全体」の集計結果は就職予定企業がある者を対象としているが、公務員や教職員志望者を除いて集計したものである。  
 ※2：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。  
 ※3：就職予定企業があることは就職活動が終わっているとは必ずしも言えないため、就職予定企業がある者でも「まだ終わっていない」は回答可能となっている。